

議会だより

No. **75**

令和7年(2025)2月
発行 白浜町議会
編集 議会広報特別委員会



CONTENTS

令和6年第4回定例会	2～5
一般質問	6～8
町議会・町議会議長の主な動き	9
委員会活動報告	10～11
次回定例会 日程など	背表紙

(20歳を祝う会：アトペンチャークールド)

第4回
(12月)
定例会

条例改正

- 白浜町椿地域振興施設条例の一部を改正する条例について
- 白浜町議会の個人情報情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について

報告

- 第56期南白浜温泉株式会社経営状況の提出について

町道路線の認定

- 町道路線の認定について
- ・廻り田1号線・2号線(才野)

指定管理者の指定

- 椿はなの湯の指定管理者の指定
- 【指定管理者】
- ・一般社団法人 椿共済組
- 【指定の期間】
- ・令和7年4月1日～令和12年3月31日

第4回(12月)定例会のあらまし

- 12月3日(第1日)
 - ・会期決定、議案提案説明
- 12月12日・13日(第2日・3日)
 - ・一般質問(5名)
- 12月17日(第4日)
 - ・議案審議、追加議案提案説明
- 12月18日(第5日)
 - ・議案審議、発議・発委案件

専決処分

- 令和6年度白浜町一般会計補正予算(第5号)
- ・既定予算への補正額 2300万円
- ・補正後の歳入歳出予算総額 140億5900万円
- 主な補正内容
- 【総務費】
- ・衆議院議員選挙費 2300万円
- 損害賠償の額を定めること
- 損害賠償の額を定めること

補正予算

- 令和6年度白浜町一般会計補正予算(第6号)
- ・既定予算への補正額 5億770万円
- ・補正後の歳入歳出予算総額 145億6670万円
- 主な補正内容
- 【総務費】
- ・ふるさと白浜応援寄附金事業 2億円

【民生費】

- ・障害者自立支援給付費等 1億2046万円
- 【農林水産業費】
- ・椿はなの湯露天風呂等整備事業 639万円
- ・鴨居漁港船揚場改修事業 1915万円
- 【観光費】
- ・白浜町・九度山町・高野町広域観光協議会負担金 100万円
- ・南紀白浜空港利用促進実行委員会補助金 300万円
- ・茜・千畳茶屋給水設備改修事業 831万円

【土木費】

- ・道路維持補修工事費 750万円
- ・血深川河川改修事業 9700万円
- 令和6年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ・既定予算への補正額 88万円
- ・補正後の歳入歳出予算総額 28億474万円
- 令和6年度白浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- ・既定予算への補正額 913万円
- ・補正後の歳入歳出予算総額 7億4203万円
- 令和6年度白浜町介護保険特別会計補正予算(第3号)
- ・既定予算への補正額 917万円
- ・補正後の歳入歳出予算総額 35億8780万円

協議

○和歌山地方税回収機構の共同処理する事務の変更及び和歌山地方税回収機構規約の変更に関する協議について

○田辺市及び白浜町におけるはしご付消防自動車に関する連携協約の締結に関する協議について

財産の取得

○財産の取得について（追認）

・令和元年度 小学校教師用教科書及び指導書の購入

○財産の取得について（追認）

・令和2年度 公立学校情報機器整備業務（小学校）

○財産の取得について（追認）

・令和2年度 公立学校情報機器整備業務（中学校）

・令和5年度 小学校教師用教科書及び指導書の購入

契約

○物品購入契約の締結について

・令和6年度 中学校教師用教科書及び指導書の購入

【金額】 921万4739円

決算審査特別委員会（令和5年度会計決算を認定）

決算審査特別委員会は、10月1日、2日、3日、4日、9日の5日間にわたり委員会を開催し、令和5年度一般会計及び特別会計8件の決算を審査しました。以下に総括意見を掲載します。

令和5年度決算は、各種会計において、「第2次白浜町長期総合計画」を基に、「輝きとやすらぎと交流のまち白浜～住んでよい、訪れて楽しいふれあいのまちづくり～」を実現するため、保健医療・福祉、防災対策、生涯学習、観光振興、農林水産業振興、地域振興等の諸施策に対して、取り組まれている。今後の行政施策の取組においては、同計画を基に、各種施策が展開されるものと思われるが、社会情勢の動向に注視しながら、住民サービスの的確な対応を行い、限られた財源を効果的、効率的に活用した行財政運営を行うとともに、地域バランスや事業の優先順位などを十分考慮しながら、中長期的な見通しを立て、事務事業の執行に取り組まれない。

歳入においては、人口減少や少子高齢化に伴い町税収の減収が懸念される状況にある中、令和5年度は、原材料価格の高騰など、社会経済の幅広い業種で影響が生じており、依然として厳しい状況下にある。また自主財源の割合は42.4%であり、地方交付税や国庫支出金等に歳入の多くを依存している状況である。住民生活に身近なサービスを安定的・持続的に提供するには、地域の実情に応じた地域活性化の取組を進め、一般財源を適切に確保していく必要がある。よって、町税、国民健康保険税、各種使用料、手数料等の未収金については、町財政の根幹である自主財源の低下を招くものであることから、公金の徴収・収納に関しては、引き続き各課の連携を密にして徴収業務を実施するとともに、財源の確保と負担の公平性の観点からも、収納対策に取り組まれない。

歳出においては、財政の深刻度を示す財政健全化判断比率は、それぞれ前年度決算と同程度であるが、財政構造の弾力性を判断するための指標である経常収支比率は、令和5年度決算では93.2%となり、前年度決算より1.2%悪化しており、依然として財政構造の硬直化が続いていることを示している。今後も厳しい財政運営を強いられることが予想される中、行政改革においては、財政再建、経費削減に努められ、民間活力を活用した行政事務等の民間委託やアウトソーシングなどにより、行政のスリム化、効率化を推進されたい。引き続き、時代に即した行政需要に的確に対応し、住民サービスのより一層の向上を図るために、組織、制度や行政運営の在り方を見直し、行財政運営の適正化・効率化を図られたい。また、将来の見通しを的確に把握し、財政健全化に取り組み、町債の残高に留意されたい。

決算審査を行う意義は、「行政効果の客観的判断と、今後の改善や反省事項の把握と活用」である。当委員会で出された意見を真摯に受け止め、安定的な財政運営に努め、次年度以降の予算の編成・執行に反映されたい。また、今後とも町民の福祉の向上や質の高い行政サービスの提供を行うなど、施策・事業の計画的推進、重点化及び効果的な財源配分に努められたい。



（岡里橋更新工事）



（十九洲地区簡易防火水槽）



（平浄水場非常用発電機）



（審査の様子）

Pick Up ! ①

全員協議会(12月3日開催)

リヴァージュ・スパひきがわの公募売却

令和8年3月31日以降の当該施設の利活用については、民間経営による観光を含めた地域活性化につながる事業を推進するため、公募売却を行います。

質疑抜粋



- ◆質問 施設を公募売却した場合、売却価格から施設の建築にかかった費用などを差し引くと、事業全体としては黒字になるのか。
- ◇回答 施設を売却しても、事業全体の収支としては赤字になると思われるが、宿泊者等によるこれまでの地域への経済効果など、観光面ではプラスになったと考えている。

Pick Up ! ②

一般会計補正予算(第6号)

ふるさと白浜応援寄附金事業

ふるさと白浜応援寄附金の受入実績をもとに、今年度の受入見込額を10億円とし、現計予算額に対して2億円の増額補正を行います。

質疑抜粋



- ◆質問 企業版ふるさと納税の受入実績はいかがか。
- ◇回答 現在、昨年度実績を上回る約600万円の受入実績がある。
また、現在進行中の案件もあることから、受け入れが確定すれば、改めてご報告させていただきたい。

Pick Up ! ③

一般会計補正予算(第6号)

椿はなの湯露天風呂等整備事業

椿はなの湯への露天風呂とサウナ設備(紀州材ヒノキ製)の整備により、公衆浴場施設のより一層の充実を図ります。

質疑抜粋



- ◆質問 サウナ設備を整備することで電気代の増加が見込まれるが、それら費用負担については、指定管理者と協議ができているか。
- ◇回答 施設整備をすることで新たな集客も見込まれるが、費用負担については、今後の収支状況を見ながら、指定管理者と協議していきたいと考える。

第4回（12月）定例会 審議結果一覧

件名	結果	廣畑敏雄	松田剛治	小森一典	溝口耕太郎	堅田府利	正木秀男	辻成紀	西尾智朗	水上久美子	横畑真治	長野莊一	黒田武士
専決処分の承認について（令和6年度白浜町一般会計補正予算（第5号））	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認について（損害賠償の額を定めること）	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認について（損害賠償の額を定めること）	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の認定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について（追認）（令和元年度 小学校教師用教科書及び指導書の購入）	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について（追認）（令和2年度 公立学校情報機器整備業務（小学校））	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について（追認）（令和2年度 公立学校情報機器整備業務（中学校））	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について（追認）（令和5年度 小学校教師用教科書及び指導書の購入）	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
椿はなの湯の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
白浜町椿地域振興施設条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度白浜町一般会計補正予算（第6号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度白浜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度白浜町介護保険特別会計補正予算（第3号）議定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
和歌山地方税回収機構の共同処理する事務の変更及び和歌山地方税回収機構規約の変更に関する協議について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
田辺市及び白浜町におけるはしご付消防自動車に関する連携協約の締結に関する協議について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
物品購入契約の締結について（令和6年度 中学校教師用教科書及び指導書の購入）	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町簡易水道事業特別会計決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町農業集落排水事業特別会計決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町下水道事業特別会計決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度白浜町水道事業特別会計決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
白浜町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○

※議案等に対する賛成者は「○」、反対者は「×」とし、議長は通常、採決に加わらないため、「/」としています。

一般質問

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について質問を質し、あるいは報告、説明を求め、または疑問を質すことをいいます。

質問議員 / 質問事項

○松田 剛治 議員（6P）

1. 災害発生時における避難所の運営について
2. 避難所の環境改善について
3. 防災対策について（自助の取り組み支援）

○廣畑 敏雄 議員（7P）

1. 町営西越団地の環境整備等について
2. 図書館建設の進捗状況について
3. 大阪・関西万博の見学について

○小森 一典 議員（7P）

1. 日置川地域の夏のイベントについて
2. 子ども食堂の支援について
3. ガンバクラブ（学童保育所）の移設について
4. 空港対策室の設置について

○横畑 真治 議員（8P）

1. アピアランスケア支援事業について
2. 公民館・集会所の活用について
3. 農業環境について
4. 高齢化社会について

○長野 莊一 議員（8P）

1. 防災について

問

災害発生時の避難所運営の支援体制は

答

自助・共助・公助の連携のもと運営を図る

避難所の環境改善

問 トイレトレーラーを含む災害応急対策における保健衛生環境の整備についての考えを伺う。

答 災害時におけるトイレトレーラー等の有用性を認識しており、様々な車種がある中で有効に運用できる仕様のあるものを現在調査・検討している。

防災対策（自助の取組支援）

問 高齢者や障害者等の世帯を対象とした家具転倒防止器具取付事業の補助対象物拡充と、全世帯対象の補助金制度創設の考えを伺う。

答 本事業の利用をより普及させるため、現在、県内市町村の取組状況等を参考に事業の調査検討を行っており、その中で補助制度の拡充を

含めた検討を行っていきたい。

問 大規模地震時の電気火災による住宅被害軽減のため、感震ブレイカー設置の必要性について、広く周知していくべきではないか。

答 感震ブレイカーは、地震発生後の通電火災を未然に防ぐための有効な対策であることから、広報や町ホームページ、防災講習会における啓発及び消防本部と連携を取りながら、引き続き普及促進に努めたい。

問 住宅耐震改修補助金の上限額を引き上げるなど、防災対策として手厚い支援を実施してはどうか。

答 現在、国で15万円の上乗せ補助、県で除却費の補助制度創設が検討されており、町でもそれらの制度拡充に対応するため、必要な予算措置を行う予定としている。



まつだ たけはる
松田 剛治 議員

QRコードの有効期限は3月下旬まで



（避難所のイメージ）

問 巨大地震に備え西越団地の耐震化の考えは

答 耐震化でなく政策空き家として除却を予定

町営西越団地の環境整備等

問 入居者のいない町営西越団地の草刈りを町で対応できないか。また、政策空き家として残している町営西越団地を更地にし、仮設住宅用地として確保する考えはないか。

答 急傾斜の法面や入居者のいない空き家周辺は、状況を把握し、維持管理に努めていく。また、西越団地は土砂災害特別警戒区域等となっており、二次災害の危険性があるため、災害時の仮設住宅用地とすることは困難である。

問 町営西越団地集会所のトイレを改修できないか。

答 安心安全に使用していただけるよう、手すりを設置して対応する。



ひろはた としお 廣畑 敏雄 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで



(町営西越団地)

図書館建設の進捗状況

問 図書館建設に向けた10年余りの議論でためてきた関係者の思いを大切に、早く確実に進めていただきたいと考えるが、進捗状況を伺う。

答 総合的な検討が必要ではあるが、児童館建設時に図書館機能を含めた複合施設として考えていきたい。

大阪・関西万博の見学

問 安全面で容認できない事態があると判断した場合、教育委員会として参加中止を指導するか。

答 参加・不参加は、学校が判断することではあるが、安心安全な状況が保たれていないということであれば、教育委員会として、十分に指導していく。

問 ガンバクラブの移設に向けた考えは

答 日置中学校の空き教室の活用を検討中

ガンバクラブの移設

問 開設以来、耐震基準不適合である日置川拠点公民館において、現在もガンバクラブが運営されている。児童たちの安心・安全を最優先事項として、早急に移設へ向けての取り組みを進めていただきたいと願うが、当局の見解を問う。

答 日置小学校周辺において、学童保育所に適した場所を検討してきたところであるが、現在、日置中学校の空き教室を活用し、移設できないか検討している。

学童保育所を移設する際には、子どもたちが安心して過ごせるよう取り組みを進めていきたい。

日置川地域の夏のイベント

問 今夏も日置川地域において花火大会が開催され、地元住民をはじめ、多くの方々から好評を得ている。来年もぜひ開催してほしいという声が増しに大きくなっているが、町長の見解を問う。

答 日置川地域で開催されている花火大会は、日置川町商工会が中心となり自主的に取り組まれていることに敬意を表する。3年目となる来年の開催については、地域の皆さんがどのように関わりを持ち、どう定着させていくか見守っていきたい。

このほか、小森議員は「子ども食堂の支援について」「空港対策室の設置について」質問しました。



こもり かずのり 小森 一典 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで



(日置川拠点公民館)

問 地域コミュニティとしての公民館活用の考えは

答 住民相互の交流の場として利用促進を図る

公民館・集会所の活用

問 人と人をつなぐコミュニティの場として公民館を活用するなど、住民ニーズに合った町の取り組みを伺う。

答 引き続き、住民自らが学習する意欲と能力を養う場、住民相互の交流の場となるよう、公民館の運営と利用促進を図っていきたい。

農業環境

問 有害鳥獣対策として、猟友会のような活動をしていただく後継者の育成等、体制構築が必要ではないか。

答 これまでも猟友会の力を借りて、鳥獣被害対策実施隊による追払い活動や捕獲活動を行っており、後継者育成という点も踏まえながら、今後有害鳥獣対策を講じていきたい。

高齢化社会

問 抗がん剤の副作用などによる脱毛や乳房の切除など、がん治療による見た目の変化に悩む人たちの支援に町で取り組む予定はあるか。

答 アピアランスケア支援事業の趣旨を理解し、本町のがん対策の取り組みの一つとして、住民の皆様が充実した社会生活を送ることができるよう、ご支援、ご協力を行っていく。

問 高齢化社会においても、住民ニーズを踏まえた一人でも住みやすい町の構築を提案するが、考えを伺う。

答 高齢者が安心して暮らせる環境の確保は、町が取り組むべき重要な課題の一つと考える。議員のご提案等を、今後の福祉施策における貴重など意見とさせていただきます。

問 自然災害から命を守るため、事前の対策が必要

答 事前復興計画策定時にさらなる防災対策を検討

防災について

問 樺地区は、連続雨量250ミリを超えたときの国道42号線封鎖、南海トラフ地震により、集落が孤立することが想定されるが、長期避難所の確保をどのように考えているか。

答 大規模災害時における長期避難生活のための避難所は、樺地区では樺小学校に開設する計画であるが、孤立集落における適切な災害応急対策等について、東京大学災害対策トレーニングセンター（DMTC）のお力を借りながら検討していきたい。

問 自然災害から命を守るため、住宅の高台移転など、地域改造をはじめとしたさらなる対策が必要だと考えるが、町長の考えを伺う。

答 自然災害から町民の生命と財産を守るために、施設等の強靱化対策と自助、共助、公助の一体的な災害対応力強化に向けたソフト対策が重要である。甚大な被害からの迅速なまちの復旧、復興を実現するための事前復興計画の策定において、住宅の高台移転等を含めた防災・減災対策を検討していきたい。

問 避難所で必要となる電気、飲料水、食料、衣料品、医薬品、トイレの確保、亡くなられた方の安置場所など、長期避難への対応を伺う。

答 災害発生後に必要となる非常食等を指定避難所に分散備蓄している



よこはた しんじ 横畑 真治 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで



(人と人をつなぐ場のイメージ)



ながの そういち 長野 荘一 議員



QRコードの有効期限は3月下旬まで



(氾濫した朝来帰川)

町議会・町議会議長の主な動き(10月~12月)

10月	1日	決算審査特別委員会
	2日	決算審査特別委員会
	3日	決算審査特別委員会
	4日	決算審査特別委員会
	6日	第58回町民体育大会
	8日	神奈川県湯河原町議会 環境・観光産業常任委員会 視察来庁
	9日	決算審査特別委員会
	10日	議会広報特別委員会 / 投身者供養
	16日	総務文教厚生常任委員会 行政視察(静岡県)
	17日	総務文教厚生常任委員会 行政視察(静岡県)
	18日	総務文教厚生常任委員会 行政視察(静岡県)
	24日	和歌山県町村議会議長会 委員長・副委員長研修会
	26日	第6回「みんな集まれ!しら・はぐフェスティバル」/ 白良浜ライトパレード点灯式
	28日	観光建設農林常任委員会 行政視察(沖縄県) / 富田川衛生施設組合議会
	29日	観光建設農林常任委員会 行政視察(沖縄県)
30日	第15回シニアレクリエーション大会	

11月	1日	紀南環境広域施設組合議会
	8日	公立紀南病院組合議会 / 高齢者運動会 / 豊水神社例祭
	10日	第32回南紀日置川リバーサイドマラソン大会
	11日	西牟婁郡町村議会議長会 政務調査(栃木県)
	12日	西牟婁郡町村議会議長会 政務調査(東京都)
	13日	第68回町村議会議長会全国大会(東京都) 新潟県三条市議会 経済建設常任委員会 視察来庁
	15日	田辺市及び周辺町議会正副議長会 総会・研修会
	18日	全員協議会
	19日	富田川治水組合議会
	21日	人権を大切にする地域づくり講演会
	25日	田辺周辺広域市町村圏組合議会
	26日	議会運営委員会
	28日	大辺路衛生施設組合議会 / 紀南地方老人福祉施設組合議会
	29日	公立紀南病院組合議会

12月	3日	第4回定例会(第1日) / 全員協議会
	6日	東京事務所開所式
	12日	第4回定例会(第2日) / 議会運営委員会 / 総務文教厚生・観光建設農林常任委員会
	13日	第4回定例会(第3日)
	17日	第4回定例会(第4日) / 議会運営委員会
	18日	第4回定例会(第5日) / 議会運営委員会 / 議会広報特別委員会
	24日	沖縄県八重山市町議会議長会 視察来庁
	26日	公立紀南病院組合議会

行政調査報告

◇委員会名称 総務文教厚生常任委員会

◇調査年月日 令和6年10月16日～18日

◇調査事項及び調査地

- ・「磐田スポーツ部活について」(静岡県磐田市)
- ・「藤枝市の防災体制について」(静岡県藤枝市)
- ・「ターントクル子ども館について」(静岡県焼津市)



報告書の全文は、上のQRコードからホームページでご確認いただけます。

◆静岡県磐田市

静岡県磐田市では、平成28年に学校部活動の枠を超えた公設公営のスポーツクラブ(磐田スポーツ部活)を設置し、中学生の運動・スポーツの機会充実、中学校教員の負担軽減等に取り組んでいる。多様化や少子高齢化など、部活動をめぐる状況が困難さを増してきていることから、今後は、部活動から地域クラブ活動へと移行していく予定である。

◇委員所感(抜粋)

学校教育が多様化する中、部活動の課題を捉え、市全体でスポーツ部活の再編に取り組まれている。白浜町で同じような取り組みを考えた場合、スポーツ設備の整備や指導者の確保が課題になると思われる。



(静岡県磐田市 調査の様子)

◆静岡県藤枝市

静岡県藤枝市では、住宅耐震化、非常用品の準備や自主防災会への補助制度を充実することで、災害発生時に自助・共助の中核となる自主防災組織や消防団の育成・強化に取り組んでいる。また、公助の取り組みとして、GISやアプリを活用した防災情報の把握・発信、多目的支援車の整備に努めるなど、災害に強いまちづくりに取り組んでいる。

◇委員所感(抜粋)

行政組織の分散化を図ることで、自助・共助・公助の強化に向けた取り組みを効率的に推進している。また、防災活動への女性参画の拡大や女性の視点を取り入れる工夫がなされており、当町でも参考にしたい。



(静岡県藤枝市 調査の様子)

◆静岡県焼津市

静岡県焼津市では、子どもの「集い・遊び」の機能に加え、読書や体験などの成長段階に応じた「学び」の機能を有し、幅広い世代の人々や団体等が交流できる子育て支援の拠点として、「ターントクル子ども館」を令和3年に整備した。同施設内には、「こども図書館」、「体験型美術館」、「カフェレストラン」、「ミュージアムショップ」などが設置されている。

◇委員所感(抜粋)

様々な体験の場が整備されており、親子だけでなく、家族や友人など多世代が交流できる施設となっている。図書館・児童館施設の建て替えも含め、当町の子ども子育て行政の取り組みの参考としたい。



(静岡県焼津市 調査の様子)

行政調査報告

◇委員会名称 観光建設農林常任委員会

◇調査年月日 令和6年10月28日~29日

◇調査事項及び調査地

- ・「第2次石垣市観光基本計画について」(沖縄県石垣市)
- ・「持続可能な公共交通について」(沖縄県南風原町)
- ・「南城市・八重瀬町地域間連携体プロジェクトについて」(沖縄県八重瀬町)



報告書の全文は、上のQRコードからホームページでご確認いただけます。

◆沖縄県石垣市

沖縄県石垣市では、「第2次石垣市観光基本計画」及び「石垣市観光危機管理計画」を策定し、観光に関わる全ての関係者が連携・協働することにより、交流人口・関係人口の拡大と観光を通じた経済の活性化を図ることで、活力あふれる観光まちづくりの実現に取り組んでいる。

◇委員所感(抜粋)

アフターコロナに向けた地域経済の回復と今後の活性化を見据えて基本計画を策定し、観光を地域全体で共有している。当町でも、観光危機管理計画を策定し、安心安全な観光地を目指すとともに、質の高いサービスや観光コンテンツを提供できる人材の確保が必要だと感じた。



(沖縄県石垣市 調査の様子)

◆沖縄県南風原町

沖縄県南風原町では、公共交通の課題を受け、誰もが使いやすい、日常生活を支える定額型の「相乗り型オンデマンド交通」の実証運行を令和6年7月から開始した。本実証運行を通じ、地域の事業者と連携し、まちの活性化を図ると同時に、移動データの共有などから既存公共交通との相乗効果を高め、将来に向けて安心できる持続可能な移動サービスの提供を目指している。

◇委員所感(抜粋)

当町でも公共交通の課題を抱え、実証実験に取り組んでいるが、南風原町の事例からも、その町の特色や人口動態に応じて、複合的に事業を展開する必要があると感じた。



(沖縄県南風原町 調査の様子)

◆沖縄県八重瀬町

沖縄県八重瀬町では、市町村等の垣根を越えて協働し、地域資源の活用や地域課題の解決による地域活性化を目的に「南城市・八重瀬町地域間連携体プロジェクト」を展開している。同プロジェクトでは、両市町が連携した「お仕事体験プログラム」等を通じて、公共交通の利用促進、中小企業支援、体験型観光プログラムの定着を目指している。

◇委員所感(抜粋)

プロジェクト関係者に県外出身者を採用することで、外から見た町の魅力の発信に努められている。当町でも人材不足が課題である中、広い知見のある人材を効率よく活用することで、町の課題解決を図りたい。



(沖縄県八重瀬町 調査の様子)

3月定例会

日	月	火	水	木	金	土
3/2	3	4 第1日 提案説明	5	6	7	8
9	10	11	12	13 第2日 一般質問	14 第3日 一般質問	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24 第4日 議案審議	25 第5日 議案審議	26	27	28	29

※次回の定例会は、3月4日から25日まで開催予定です。
詳しい日程などは、議会事務局までお問い合わせください。

録画配信

本会議などの様子をインターネットで録画配信しています。

録画配信の開始には、会議終了後、数週間程度お時間をいただいています。



録画配信HP

FM放送

一般質問の様子をFMビーチステーションで放送しています。

放送予定日は、定例会翌月の第1月曜日から水曜日（午後1時～）を予定しています。



FM放送予定

和歌山県町村議会議長会 委員長・副委員長研修会（県自治会館）



10月24日に県自治会館で委員長・副委員長研修会が開催されました。研修会では、赤羽 正法氏（全国町村議会議長会 議事調査部 参与）を講師に迎え、「委員会の運営について」を演題に講演いただきました。

会議録の閲覧

町議会では、本会議及び各委員会の会議録を作成しており、会議録のすべては、町議会事務局で閲覧していただくことができます。

なお、本会議の会議録については、平成23年分からホームページで公開しておりますので、いつでもご覧いただけます。

白浜町議会 会議録

検索



公開している会議録の閲覧は、ホームページで検索いただくか、左のQRコードからもご覧いただけます。

編集 後記

白浜町議会では、昨年からの試験的に導入を進めてきたタブレット端末について、令和7年定例会から本格運用を開始することとしています。導入の目的は、「持ち運びがしやすく画像等を表示させて分かりやすく説明できること」、「蓄積された過去の事例を検索できること」、「ペーパーレス化により紙の印刷や配布などのコストや手間が省けること」、「各議員への連絡事項がタブレッ

ト端末を通して送受信できること」などです。

なお、議会傍聴に来られた方には、今までどおり議案書などの資料を紙でご用意していますので、社会の変化へ対応を図る議会の傍聴にぜひお気軽にお越しください。（堅田）

議会広報特別委員会

委員長 長野 莊一
副委員長 横畑 真治
委員 堅田 府利 辻 成紀
水上久美子 黒田 武士